

第69期 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日

Contents

- P 1 株主の皆様へ
- P 3 連結財務諸表
- P 5 会社の概要
- P 6 株式の状況

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社の第69期上半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の事業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

当上半期における日本経済は、消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動が大きかった第1四半期に比べ、大きくリバウンドすると期待されていましたが、天候不順が続いたこともあり、持ち直しのペースは緩やかなものとどまりました。米国経済は住宅市場の回復、個人消費の拡大などにより、引き続き堅調に推移いたしました。欧州経済は後退局面から抜け出したものの、厳しい雇用情勢や緊迫化するウクライナ情勢などにより、引き続き成長は抑制されて推移いたしました。中国経済につきましては、先進国経済の回復基調を背景として、景気の底打ち感がでているものの、内需は弱含みで推移し、不透明感をぬぐいきれれておりません。新興国経済につきましては、外需依存の高い国では、先進国経済の回復基調が追い風となり、堅調に推移したものの、全般には伸び悩みの傾向が継続いたしました。

工業用ミシンにつきましては、繊維産業の集積地であった中国から、その他のアジアや消費地に近い国々へ縫製拠点を移転させる動きが引き続き継続していることを背景に、アジア市場や中南米を含む米国市場での需要が堅調に推移いたしました。自動車部品を中心とするダイカスト部品に対する需要につきましては、タイ、ブラジルなどの一部新興国で政情不安や景気後退を主因として、完成車の販売に停滞がみられたものの、その他の市場では、総じて需要が底堅く推移したことを受け、順調に推移いたしました。

このような環境のもとで、工業用ミシンにつきましては、市場構造の変化に応じた生産体制の整備を推進するとともに、市場のニーズに合わせた高級機の販売の強化、新機種の開発などに努め、ダイカスト部品につきましては、品質の維持向上と増産に注力いたしました結果、当上半期の売上高は83億27百万円（前年同期比22.2%増）となり、営業利益は9億25百万円（前年同期比108.0%増）、経常利益は11億49百万円（前年同期比147.6%増）、中間純利益は12億6百万円（前年同期比314.8%増）となりました。

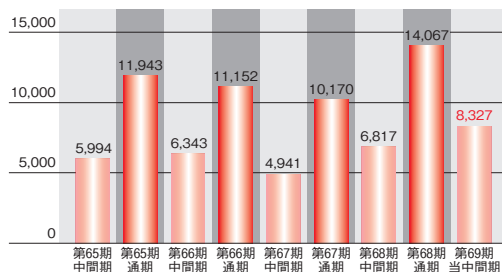
株主の皆様には、今後とも引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

代表取締役社長 清水盛明

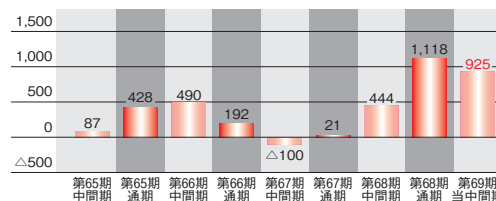
■売上高の推移

（単位：百万円）



■営業損益の推移

（単位：百万円）



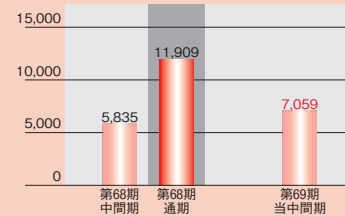
セグメント別の概況

工業用マシン

工業用マシンにつきましては、縫製産地の流動化に応じた販売戦略の展開に努めたほか、ベトナムでの生産機種種の拡大や、中国拠点の合理化や高級機の生産能力強化を図る一方で、日本国内生産体制の効率化及び高度化にも注力し、売上高70億59百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益11億55百万円（前年同期比77.2%増）となりました。

[工業用マシン売上高]

(単位：百万円)

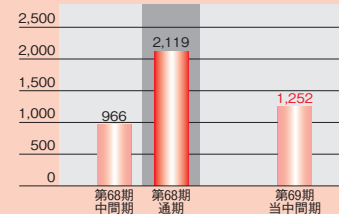


ダイカスト部品

ダイカスト部品につきましては、高品質を維持しつつ、一層の増産体制の整備を行うことにより、売上高12億52百万円（前年同期比29.7%増）、営業利益2億71百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

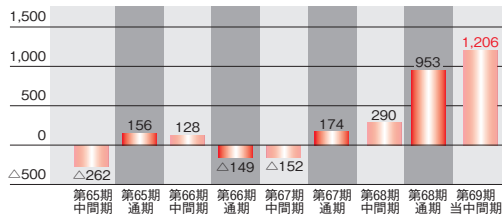
[ダイカスト部品売上高]

(単位：百万円)



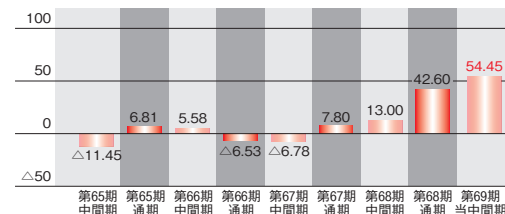
純損益の推移

(単位：百万円)



1株当たり純損益の推移

(単位：円)



[中間連結貸借対照表]

(単位：千円)

科目	前年通期 (平成26年3月31日現在)	当中間期 (平成26年9月30日現在)	科目	前年通期 (平成26年3月31日現在)	当中間期 (平成26年9月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	18,534,493	18,133,638	流動負債	7,121,311	6,058,883
現金及び預金	6,231,100	6,086,317	支払手形及び買掛金	1,508,089	1,603,663
受取手形及び売掛金	4,668,899	4,492,396	短期借入金	2,604,806	1,939,697
商品及び製品	3,238,609	3,117,388	未払法人税等	563,556	527,803
仕掛品	700,473	719,169	賞与引当金	114,439	155,208
原材料及び貯蔵品	3,075,886	3,387,914	その他	2,330,418	1,832,510
その他	661,840	432,383	固定負債	4,561,405	4,587,597
貸倒引当金	△ 42,317	△ 101,931	社債	758,000	1,509,600
固定資産	6,994,487	6,935,215	長期借入金	2,415,922	1,714,241
有形固定資産	5,490,604	5,468,444	退職給付に係る負債	606,930	577,786
無形固定資産	699,745	620,399	その他	780,553	785,969
投資その他の資産	804,137	846,370	負債合計	11,682,716	10,646,481
			(純資産の部)		
			株主資本	11,650,509	12,790,647
			資本金	1,908,750	1,908,750
			資本剰余金	2,055,073	2,055,073
			利益剰余金	8,169,136	9,309,274
			自己株式	△ 482,450	△ 482,450
			その他の包括利益累計額	1,533,655	1,023,427
			その他有価証券評価差額金	93,368	124,986
			為替換算調整勘定	1,632,451	1,045,279
			退職給付に係る調整累計額	△ 192,163	△ 146,838
			少数株主持分	662,098	608,297
			純資産合計	13,846,263	14,422,372
資産合計	25,528,980	25,068,853	負債・純資産合計	25,528,980	25,068,853

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT①** 流動資産は、前年通期に比べて4億円減少し、181億33百万円となりました。これは、その他流動資産が2億29百万円、受取手形及び売掛金が1億76百万円、現金及び預金が1億44百万円、商品及び製品が1億21百万円それぞれ減少し、原材料及び貯蔵品が3億12百万円増加したことなどによります。固定資産は、前年通期に比べて59百万円減少し、69億35百万円となりました。これは、無形固定資産が79百万円、有形固定資産が22百万円それぞれ減少し、投資その他の資産が42百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は前年通期に比べて4億60百万円減少し、250億68百万円となりました。
- POINT②** 流動負債は、前年通期に比べて10億62百万円減少し、60億58百万円となりました。これは、短期借入金が6億65百万円、その他流動負債が4億97百万円それぞれ減少したことなどによります。固定負債は、前年通期に比べ26百万円増加し、45億87百万円となりました。これは、社債が7億51百万円増加し、長期借入金が7億1百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は前年通期に比べて10億36百万円減少し、106億46百万円となりました。
- POINT③** 純資産合計は、前年通期に比べて5億76百万円増加し、144億22百万円となりました。これは、利益剰余金が11億40百万円増加し、為替換算調整勘定が5億87百万円減少したことなどによります。

[中間連結損益計算書]

(単位：千円)

科 目	前中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当中間期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	6,817,257	8,327,909
売上原価	4,492,256	5,255,259
売上総利益	2,325,001	3,072,650
販売費及び一般管理費	1,880,078	2,147,007
営業利益	444,922	925,643
営業外収益	109,657	324,929
営業外費用	90,466	101,357
経常利益	464,114	1,149,215
特別利益	2,334	495,444
特別損失	450	—
税金等調整前中間純利益	465,997	1,644,659
法人税、住民税及び事業税	157,006	287,682
法人税等調整額	4,331	116,966
少数株主損益調整前中間純利益	304,660	1,240,010
少数株主利益	13,743	33,386
中間純利益	290,917	1,206,624

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

[中間連結キャッシュ・フロー計算書]

(単位：千円)

科 目	前中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	当中間期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
POINT④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 264,246	1,122,144
POINT⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 536,986	△ 37,124
POINT⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	864,576	△ 888,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	349,589	△ 107,698
現金及び現金同等物の増減額	412,932	88,505
現金及び現金同等物の期首残高	3,004,770	4,900,744
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,417,702	4,989,250

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT④ 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益が16億44百万円であり、仕入債務の増加2億80百万円、減価償却費2億66百万円、固定資産売却益4億95百万円、たな卸資産の増加4億55百万円、法人税等の支払額3億6百万円などにより、11億22百万円の収入となりました。

POINT⑤ 投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出5億94百万円、有形固定資産の取得による支出5億72百万円、定期預金の払戻による収入7億74百万円、有形固定資産の売却による収入2億18百万円、無形固定資産の売却による収入1億26百万円などにより、37百万円の支出となりました。

POINT⑥ 財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の純減少額7億34百万円などにより、8億88百万円の支出となりました。

創	業	大正3年1月
設	立	昭和22年1月8日
資	本 金	19億875万円
従	業 員 数	224名（従業員数には、臨時従業員（パートタイマー、顧問および派遣社員） および他社への出向者は含まれておりません。）
U	R L	http://www.pegasus.co.jp

役員および執行役員の状況（平成26年9月30日現在）

代表取締役社長	清水盛明	上席執行役員	嘉数隆志
専務取締役執行役員	末永高二郎	上席執行役員	田村淳一
常務取締役執行役員	勝連雅生	上席執行役員	朝子高司
常務取締役執行役員	舟引康之	執行役員	瀬戸洋二
取締役執行役員	美馬しげみ	執行役員	谷口とも
取締役執行役員	高こう	執行役員	吉田たけ
監査役（常勤）	奥おく	執行役員	大西ひろ
監査役	古寺てら	執行役員	岡田よし
監査役	定藤しげ	執行役員	均秀
	繁樹		

製品紹介



FS700Pシリーズ
●フラットシーム用送り出し腕型
4本針偏平縫いミシン



GX5200シリーズ
●ドライヘッドタイプ
オーバーロックミシン

株式の状況（平成26年9月30日現在）

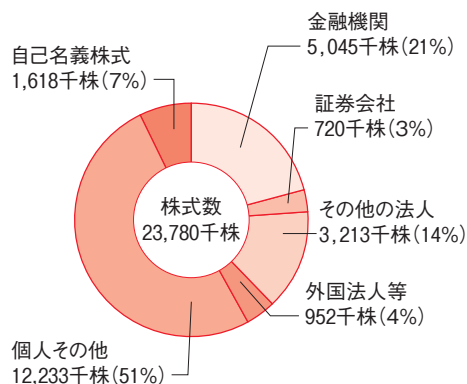
発行可能株式総数 76,928,000株
 発行済株式の総数 22,162,099株（自己株式1,617,901株を除く。）
 株主の総数 5,058名

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,823千株	8.23%
株式会社美馬	1,553千株	7.01%
板東 敬三	831千株	3.75%
株式会社三井住友銀行	830千株	3.75%
吉田 隆子	709千株	3.20%
ペガサスマシン従業員持株会	635千株	2.87%
美馬 成望	612千株	2.76%
板東 雄大	469千株	2.12%
美馬 正道	436千株	1.97%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	371千株	1.68%

注1 千株未満は切り捨てて表示しております。
 2 当社は、自己株式1,617,901株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

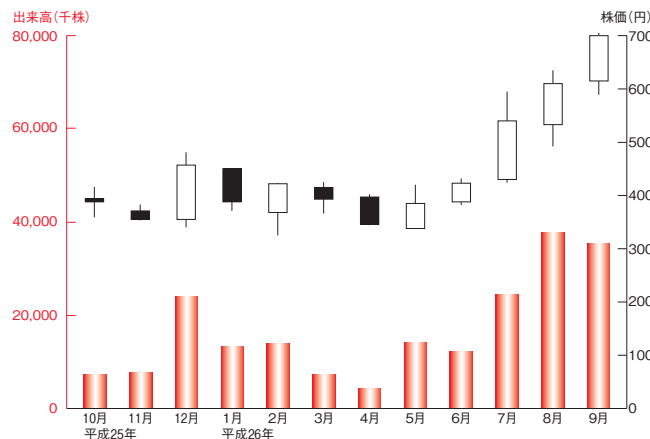
株式分布状況（平成26年9月30日現在）

●所有者別 株式保有割合



※株主諸統計表を参考に作成しています。所有株数、パーセントは四捨五入しております。

株価推移表



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 (http://www.pegasus.co.jp) ※ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告する。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

WEBサイトのご案内

<http://www.pegasus.co.jp>

会社案内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

創業100周年記念祝賀会について (販売拠点)

私どもペガサスミシン製造株式会社は、おかげさまでもちまして2014年1月に創業100周年を迎えることができました。
販売拠点各社では業界関係者をお招きし、記念祝賀会を開催いたしました。

開催日：2014年5月14日
主催：PEGASUS CORPORATION OF AMERICA
場所：アトランタ（アメリカ）
出席者：約120名



開催日：2014年9月25日
主催：PEGASUS EUROPA GmbH
場所：フランクフルト近郊（ドイツ）
出席者：約70名



環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。